平成30年度 北杜会同好会活動報告書

代表者•所属: 理工学部物理材料理工学科 中西 良樹

活動日時・場所 平日毎昼12時15分~12時55分 · 岩手大学グランド

援助金: <u>30000円</u>

使途: サッカーボール (3個)16000円ゴール・ネット (2組)12000円消耗品2000円

合計 3000円

活動内容

2018年(平成30年)は第21回FIFAワールドカップ・ロシア大会が開催された記念すべき年である。本大会は「平和の祭典」としてのメッセージ性も強く、国内はもとより全世界が最も盛り上がるスポーツ・イベントの一つである。日本中が一つにまとまる貴重な一時でもある。こうした背景もあり、本年度の昼サッカー活動は大いに活気付いた一年でもあった。取り分け、教職員に混じって理工学部の学生の他に、他部局(人文社会学部、教育学部)の職員、学生が加入したことも本年の特徴で、同好会の大きな進展にも繋がった。

春・夏・秋と一定人数の参加、定期的な開催が可能 であったが、今年の冬に関しては例年と大きく異なっ ていた。比較的暖冬であったことと降雪量が少なかっ たため、冬の昼サッカーの醍醐味である雪上サッカー が実施できなかった点である。そのため、会員の体重 増、精神衛生の悪化など深刻な問題が生じてしまっ た。1日の中のこの束の間の活動が、会員にとってい かに重要なひと時であるかを痛感した貴重なシーズ ンでもあった。しかしながら、本年度も講義、研究室、 あるいは業務上以外でも、教員同士、さらには学生と のふれあいの場を提供することが出来、微力ながらも 北杜会構成メンバーの福利厚生に貢献できたと考え ている。W 杯の開催で日本が一つになれる様に、昼サ ッカーの活動を通じて大学の部局、組織の構成員が障 壁なくより良く交流できる潤滑油の役割を果たせる 様、今後も活動の維持、運営に努めていく所存である。

今年度の援助金をもとに購入した物品で、健康的に 健全な活動を実施することができました。今回の援助 金に対して深く感謝致します。ありがとうございまし た。来年度も引き続き宜しくお願いいたします。



ある春の日の昼サッカー参加者



ある秋の日の昼サッカーの様子



援助費で購入したボール、その他